



NIPRO  
CORPORATION  
BUSINESS  
REPORT

第59期 株主通信  
2011年4月1日～2012年3月31日

 **NIPRO**  
ニプロ株式会社

## 地産地消をニプログループとして推進中。

ニプログループは、1988年にタイに医療機器工場を設立したのを皮切りに、欧州、北中南米、アジアと海外進出を進めてまいりました。

現在では、医療事業はもちろんのこと、医薬事業、材料事業もグローバル展開を推進し、より地域に密着したサービスを提供、生産の拡充と効率向上を目指しています。

引き続き需要のあるところで生産する『地産地消』に取り組むなど、積極的に業績向上に努めてまいります。



▲ ニプロメディカルLTD.



▲ ニプロタイランドコーポレーション

### ■ 主なニプログループ関係会社

#### 医療事業関係

〈国内〉ニプロ医工株式会社(群馬県館林市)

〈海外〉アメリカ ①ニプロメディカルコーポレーション(フロリダ州)

②ニプロダイアグノスティクス, INC.(フロリダ州)

ベルギー ③ニプロヨーロッパN.V.(ザヴェンテム市)

ブラジル ④ニプロメディカルLTD.(サンパウロ州)

中国 ⑤ニ普洛(上海)有限公司(上海市)

⑥ニ普洛貿易(上海)有限公司(上海市)

⑦ニ普洛医療器械(合肥)有限公司(合肥市)

タイ ⑧ニプロタイランドコーポレーション(アユタヤ県)

⑨ニプロセールスタイランドCO., LTD.(バンコク市)

シンガポール ⑩ニプロアジアPTE LTD

インド ⑪ニプロインドシアコーポレーションPVT LTD.(プネ市)

#### 医薬事業関係

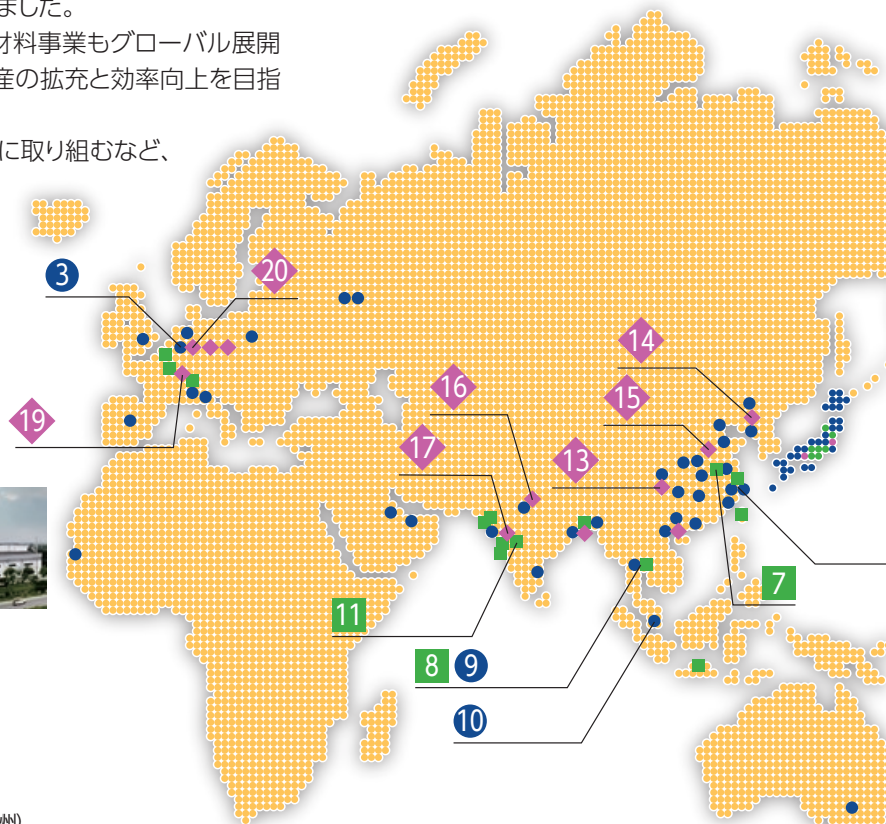
〈国内〉ニプロファーマ株式会社(大阪市)

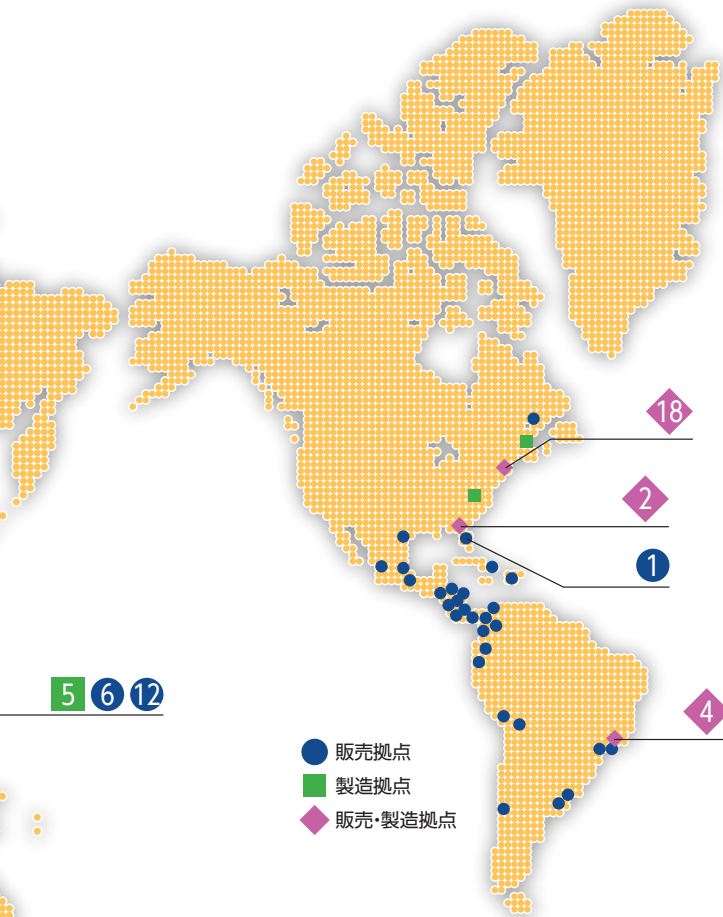
ニプロジェネファ株式会社(埼玉県春日部市)

東北ニプロ製薬株式会社(福島県岩瀬郡)

全星薬品工業株式会社(大阪府堺市)

ニプロパッチ株式会社(埼玉県春日部市)





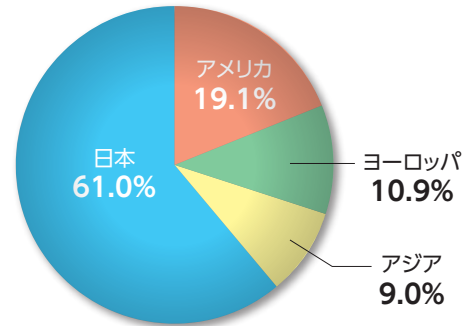
5 6 12

● 販売拠点  
■ 製造拠点  
◆ 販売・製造拠点

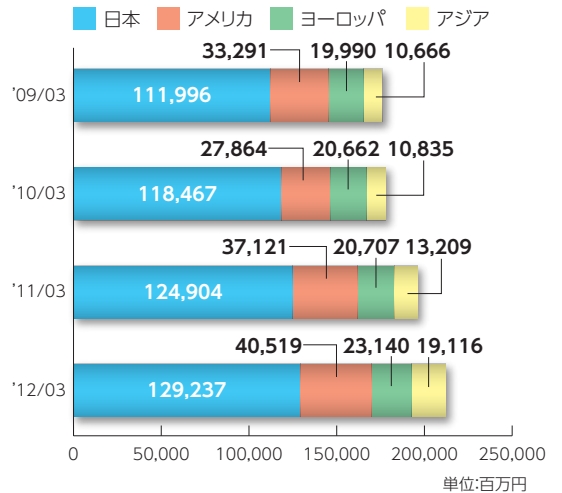
材料事業関係  
《海外》中

- 国 12 上海日硝保温瓶胆有限公司(上海市)
- ◆ 成都平原尼普洛薬業包装有限公司(成都市)
- ◆ 吉林尼普洛嘉恒薬用包装有限公司(吉林省)
- ◆ 安陽尼普洛昌達医薬包装有限公司(安陽市)
- インド ◆ ニプログラスインディアLTD.(メーラト市)
- ◆ ニプロチューブグラスLTD.(ムンバイ市)
- アメリカ ◆ ニプログラスアメリカコーポレーション(ニュージャージー州)
- フランス ◆ ニプログラスフランスS.A.S.(アーローニュ・ピランクー市)
- ベルギー ◆ ニプログラスベルジヤムN.V.(グラス・オローニュ市)

■ 2012年3月期地域別売上比率



■ 地域別売上比率の推移



2011年度下半期の世界におけるニプログループの動き

- 2011年11月 ニプロメディカルコーポレーション プロダクツメディコスLtda. 設立  
ニプロメディカルコーポレーション ポリビア支店 開設
- 2011年12月 バングラデシュの製薬企業JMI Pharma Ltd.の子会社化を決定
- 2012年 2月 ドイツの硝子医薬容器メーカーMGlas AGについて株式譲渡契約を締結  
(ニプログラスジャーマニーAGと社名変更)

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第59期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)の株主通信をお届けさせていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、弊社前代表取締役社長 佐野 實は、2012年5月8日に急逝いたしました。生前のご厚誼を深く感謝いたしますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

なお、2012年5月11日に開催されました取締役会において、私、佐野 嘉彦が代表取締役社長として選任され、就任いたしました。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

佐野 嘉彦

## 利益体質を維持しながら、世界のトップシェアを目指します

当期の世界経済は、欧州の金融危機の継続や、米国経済の長期にわたる低迷、中国経済の減速等、総じて波乱含みの状況で推移しました。一方、わが国経済におきましても、東日本大震災による経済活動の下押しや、原子力発電所事故に伴う電力供給問題が深刻化するなか、原油価格の高騰問題が加わる等、依然として厳しい経営環境のもとに推移しました。

このような状況下で、当社グループは、震災による営業拠点の一部被災や工場の生産停止などを早期に回復させるとともに、引き続き海外における生産・販売拠点の確保を実施してまいりました。とりわけ、震災直後は安全な透析医療の確保のため、東日本大震災当日より透析装置の整備・点検・補修を開始し、さらに翌日には緊急車両を手配し、ダイアライザ・注射針・シリンジ等を被災地に供給するなど医療機器、医薬品の安定供給という使命を果たすべく、迅速に対応いたしました。また、海外工場製品を海外販社へ直接取引を行ったことで為替リスクの低減が図られ、さらに地域に密着した販売展開が可能となり、製品の安定供給が実現いたしました。

今後の世界経済は、欧州経済の低迷による景気の下振れリスクが一層高まり、わが国においても、電力供給問題解決の

長期化や、資源価格の高騰が懸念され、経営環境はますます厳しさを増すものと予想されます。

このような状況下におきましても、当社グループは、需要の増加による量的成長が見込める製品の生産能力を高め、コスト競争力を向上することによってグローバル市場でシェアを獲得し、利益体質を維持しながら販売を拡大することを基本的な方針・経営戦略としております。

前社長の築いた経営方針を受け継ぎ、今後もすべての事業分野、商品群で世界のトップシェアを目指し、信頼されるグローバル企業としての礎を確固たるものにすべく、より一層、事業展開を強力に推し進めてまいります。

### 第59期 通期実績

(単位：百万円)

	第58期	第59期	前期比(%)
売上高	195,942	212,013	8.2
営業利益	17,225	15,825	△8.1
経常利益	13,371	11,983	△10.4
当期純利益	2,455	4,585	86.7

## 公募増資と新株予約権付社債の発行について

当社は、2012年2月14日に「新株式発行および株式売出し」、3月5日に「第三者割当による取得条項付無担保転換社債型新株予約権付社債（劣後特約付）の発行」を決議し、当社グループの国内外拠点における設備投資および事業拡大のための投融資に必要とされる資金の調達を図りました。

当社グループは、2020年度の経営目標である連結売上

高5,000億円の達成を目指し、需要のあるところで生産する「地産地消」を全世界で実現するため、海外での生産・販売拠点の拡充を進めております。

調達した資金は、長期経営目標に照らした戦略的な投資に充当するものであり、当社がグローバル企業へとさらなる成長を遂げ、ひいては、株主さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの利益に資するものと考えております。

公募増資による調達額：	19,397百万円
新株予約権付社債による調達額：	7,000百万円

## 「透析用監視装置 NCV-2」、「個人用透析装置 NCV-10」が2011年度 グッドデザイン賞を受賞

2011年10月、当社人工透析装置「透析用監視装置 NCV-2」および「個人用透析装置 NCV-10」が、グッドデザイン賞を受賞しました。コンパクトなデザインでありながら、自動化によって医療スタッフの労力と作業時間の軽減を実現。これにより重症患者のケアや患者指導などの医療行為に、より充分な時間と労力を充てていただくことが可能となりました。今回の受賞は、限られた治療スペースに対応するためのコンパクト化という条件のなかで、装置内部の機構の精度、耐久性、メンテナンス性を確保しつつ、高い安全性を確立させるプロダクトとインターフェースのデザインが評価されたものです。また、コンパクト化により、患者さんの在宅治療の可能性を導くものとして期待されるとの評価も受けました。

ニプロは、今後も、顧客のアンメットニーズ※に重点をおいた開発、製造に取り組み、品質・安全性の向上に努めてまいります。

※アンメットニーズ・・・いまだに有効な治療法が確立されておらず、医薬品などの開発が進んでいない治療分野における医療ニーズ



透析用監視装置 NCV-2

個人用透析装置 NCV-10



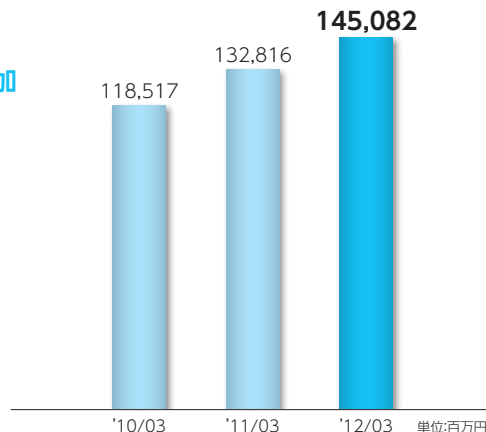
## 医療事業

売上高

1,450億82百万円 ↑ 前期比 9.2%増加

〈国内販売〉透析関連製品が大きく伸長したほか、検査関連製品、バスキュラー関連製品、心臓外科関連製品も伸長。震災の影響により一時的に売上が減少した輸液・注射関連製品、中空糸型透析器（ダイアライザ）は、徐々に回復。

〈海外販売〉当期首から海外工場製品を海外販社へ直接取引を行ったことで為替リスクが低減。この結果、地域に密着した販売展開が可能となり、製品の安定供給が実現。



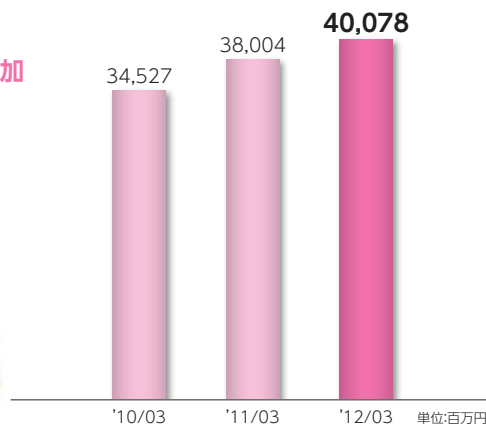
## 医薬事業

売上高

400億78百万円 ↑ 前期比 5.5%増加

〈ジェネリック医薬品部門〉経口剤のシェア拡大、DPC（急性期入院医療費の包括支払方式）対象病院を中心に一層の情報提供に努めた結果、追補品（新規発売品）を中心に売上高は堅調に推移。

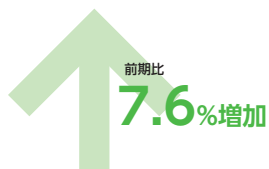
〈製造受託部門〉開発受託、付加価値化の支援など多様な受託サービスの提供を通じ、きめ細かな受託営業に注力。上半期は東日本大震災により一部工場の操業が低下したが、複数の大型製品が出荷を開始したことから、通期では前期売上高を上回る。



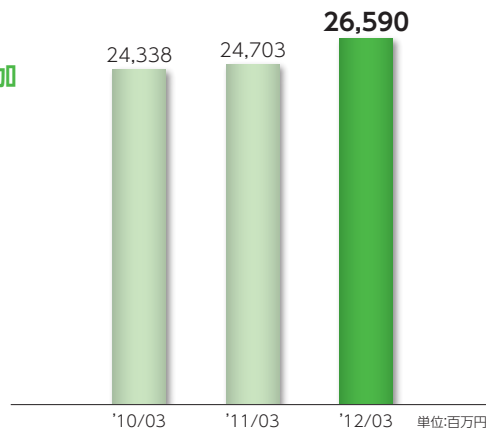
## 材料事業

売上高

**265.90** 億 百万円



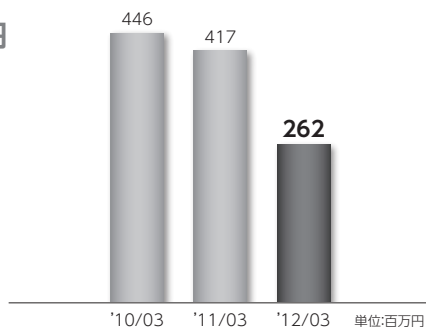
医薬用硝子管の管瓶用生地管の売上は、堅調な国内需要と海外販売の好調な推移により前期に比べ増加。また、中国・ロシアにおける医薬用硝子事業の展開により、新規販売先として着実な伸びを示す。魔法瓶用硝子は、海外輸出が堅調に推移し、また、国内市場においても震災特需により前期に比べ増加。医薬品包装容器は当社のもつプラスチック・ゴム・金属加工技術を背景に、医薬用ゴム栓、抗菌剤用バッグ、キット製剤用容器が順調な伸びを示す。



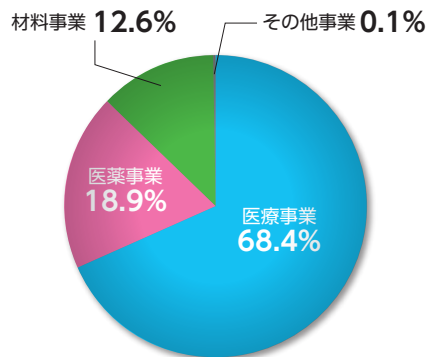
## その他事業

売上高

**2億62** 百万円



## セグメント別構成比



## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

### Point解説

#### 流動資産

現金及び預金が146億22百万円、受取手形及び売掛金が74億4百万円、商品及び製品が54億16百万円増加

#### 固定資産

建設仮勘定が179億68百万円増加したものの、投資有価証券が337億34百万円減少

#### 流動負債

短期借入金が74億72百万円、1年内償還予定の社債が50億円増加

#### 固定負債

社債が90億円、繰延税金負債が57億4百万円減少したものの、長期借入金が198億30百万円増加

科目	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	250,435	217,021
固定資産	249,250	259,488
有形固定資産	145,678	128,505
無形固定資産	19,151	13,568
投資その他の資産	84,420	117,414
資産合計	499,686	476,510
<b>負債の部</b>		
流動負債	189,089	176,401
固定負債	196,645	191,070
負債合計	385,735	367,472
<b>純資産の部</b>		
株主資本	132,558	104,403
その他の包括利益累計額	△22,737	2,106
少数株主持分	4,129	2,527
純資産合計	113,950	109,037
負債・純資産合計	499,686	476,510



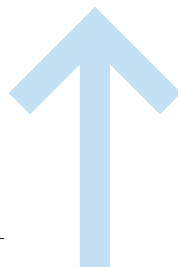
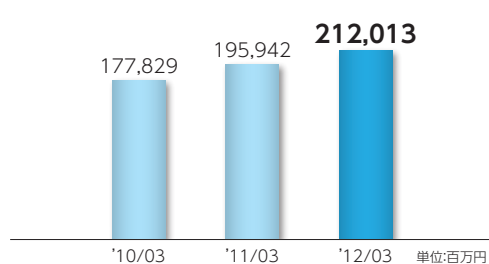
## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	平成22年4月1日～ 平成23年3月31日
売上高	212,013	195,942
売上原価	149,253	137,768
売上総利益	62,760	58,174
販売費及び一般管理費	46,934	40,949
営業利益	15,825	17,225
営業外収益	2,386	1,709
営業外費用	6,228	5,563
経常利益	11,983	13,371
特別利益	2,409	1,819
特別損失	3,370	7,758
税金等調整前当期純利益	11,022	7,431
法人税、住民税及び事業税	6,202	6,371
法人税等調整額	△196	△1,751
少数株主損益調整前当期純利益	5,016	2,812
少数株主利益	430	356
当期純利益	4,585	2,455



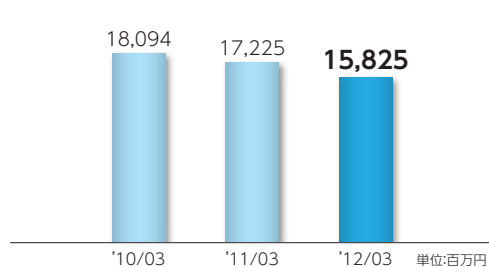
## 売上高



**8.2%**増 (前期比)

医療・医薬・材料の各セグメントで売上高が増加しました。

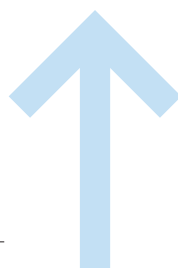
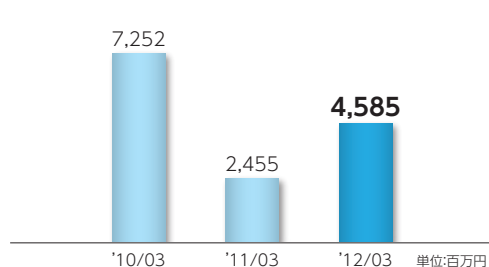
## 営業利益



**8.1%**減 (前期比)

海外子会社の増加、営業活動強化による販売費及び一般管理費の増加(前期比59億85百万円の増加)により減少しました。

## 当期純利益

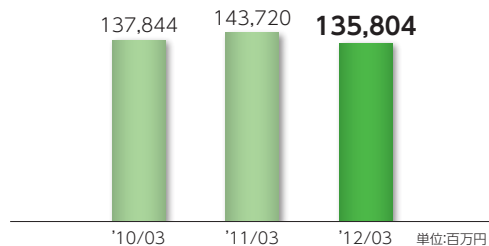


**86.7%**増 (前期比)

災害による損失の減少(前期比39億20百万円の減少)により増加しました。



## 売上高

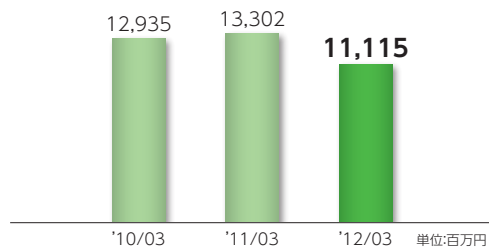


**5.5%減** (前期比)

医薬事業・材料事業で売上高が増加するものの、医療事業の減少\*により減少しました。

※当期首から海外工場製品を海外販社へ直接取引を行ったことにより減少

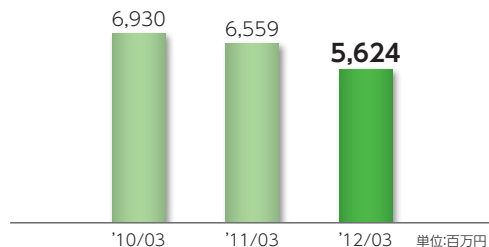
## 営業利益



**16.4%減** (前期比)

営業活動強化、試験研究費の増加による販売費及び一般管理費の増加(前期比10億93百万円の増加)により減少しました。

## 当期純利益



**14.2%減** (前期比)

特別利益(投資有価証券売却益等)の減少により減少しました。

# 海外からのレポート



## インド

インドは世界第2位の人口をもち、ヒンディー語、英語をはじめ22の言語が話される多民族、多宗教といった多様性に富む国家です。

経済は1991年の経済自由化政策により、それまでの社会主義的計画経済から規制緩和と民間資本の活用による自由主義経済へと移行し、2010年度の実質GDP成長率は8.6%、世界第10位の経済国家となりました。今後も成長傾向は続くと考えられ、2030年には「中国、米国、日本、インド」と、世界第4位の経済大国に成長するともいわれています。

近年、日系企業の進出も増加しており、参入業種の多様化とM&Aを中心とした投資案件の大型化も進んでいます。また、昨年8月には両国の経済関係の一層の強化を目的とした包括的経済連携協定(CEPA)が発効されました。

## インドの医療状況

インドの医療市場は年間13%~15%の成長を遂げており、民間病院グループを中心に高度先進医療への設備投資が加速しています。しかしながら、人工透析の分野では、現在インド全体の末期腎不全の患者数約100万人に対し、透析治療を受けている患者数は約7万人のみというのが現状です。



人口	12億1,000万人
面積	3,287,263km <sup>2</sup> <small>(パキスタン、中国との領争地を含む)</small>
言語	ヒンディー語(連邦公用語) 英語(連邦準公用語) その他複数の各州公用語
首都	ニューデリー



◆ニプログラスインディアLTD.  
所在地:ウッタル・プラデッシュ州メーラト



◆ニプロインディアコーポレーションPVT LTD.  
所在地:マハラシュトラ州プネ  
稼働開始予定:2012年7月



◆ニプロチューブグラスLTD.  
所在地:マハラシュトラ州ムンバイほか、  
計4工場+1工場建設中

## 事業所・工場紹介

ニプログループはインド国内に現地法人を3社有し、ニプロインディアコーポレーションPVT LTD.はダイアライザほか医療機器の製造\*注・販売を、ニプログラスインディアLTD.は医薬用包装材料(アンプル・バイアル)に使用される硝子生地管の製造販売を、ニプロチューブグラスLTD.は硝子生地管からアンプル・バイアルへの加工・販売を行っています。これら3社、ニプロインド事業の従業員数は1,045名(2012年3月末現在)、うち日本人駐在員は7名です。

注:工場稼働開始は2012年7月~

## 観光名所について



チャトラパティ・シヴァージー・ターミナス駅(旧ヴィクトリア・ターミナス駅)は、フォート地区に建つ、1887年完成のヴィクトリア・ゴシック様式の駅舎です。2004年には、世界遺産に登録されています。

## 食事について

カースト制度が根強く残っている地方では、身分の高いカーストの者は、低いカーストの者が作った料理を食べません。また、他人が使った皿やコップを使うのも嫌います。しかし都会では、教育が普及しているので、カースト制度に根ざした食事に関する禁止事項はなくなっています。ヒンドゥー教徒は牛を聖獣と考えているので牛肉を食べず、イスラム教徒は豚を不浄なものとして、豚肉を食べません。また、インドでは食べ物を右手の指を使って食べ、左手は汚れているとして食事に使いません。ヒンドゥー教徒は、その教えに従ってあまりお酒を飲みません。

▶右からお米、チャパティ(小麦の全粒粉でつくる無発酵の薄焼きパン)、カリフラワーとジャガイモの炒め物、ヨーグルト、ダール(去皮して挽き割った小粒の豆類、およびその煮込み)。その奥はサラダです。バナナ、キュウリ、ニンジン、トマトに塩とマサラ(香辛料)をふりかけたもの。

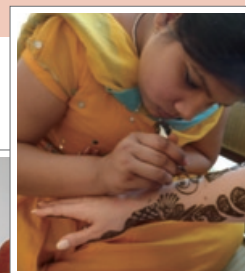
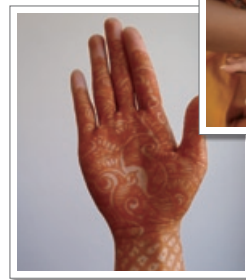


## 文化について

インドでは古来よりヘナ(植物染料)を用いたボディアート(ヘナタトゥ)が行われており、これをヒンディー語で「メヘンディ」といいます。

メヘンディは肌の角質を染めるので1~3週間で自然と消えていきます。

おしゃれを目的にされることもあります。本来は結婚式で結ばれる二人が「二人が長く幸福に暮らせませうに」と願って施される儀式的なものです。この他にも「元気な体でありますように」「良い人に巡り逢えますように」「仕事があまくいきますように」というように、おまじないやお守りのような存在として親しまれています。その他にも描かれる絵柄・模様によって金運や仕事運、総体運などさまざまな意味があり、絵柄に願いをかけ、自分を勇気付けたり、元気付けるのがメヘンディの本当の意義なのです。



## ■会社情報

### ニプロ株式会社 NIPRO CORPORATION

設 立	1954年7月8日
資 本 金	84,397,840,000円
事 業 内 容	医療機器・医薬品の製造・販売、 硝子製品の製造・販売
従 業 員 数	2,367名
上場金融商品取引所	東証・大証市場第1部(証券コード 8086)
ホ ー ム ペ ー ジ	<a href="http://www.nipro.co.jp/">http://www.nipro.co.jp/</a>

## ■取締役および監査役 (2012年6月28日)

代表取締役社長	佐 野 嘉 彦
常 務 取 締 役	佐 藤 一 誠
	若 槻 清 貴
	吉 岡 利 明
	増 田 哲 彦
取 締 役	山 部 満 隆
	上 田 崎 剛 司
	岡 本 秀 男
	岩 佐 昌 暢
	小 林 京 悦
	澤 田 洋 三
	箕 浦 公 人
	中 村 秀 靖
	沓 川 藤 昌 幸
	伊 崎 五 男
	赤 野 一 彦
	佐 数 一 昭 雄
	白 田 博
	吉 須 藤 浩
	須 菊 地 夫
	西 田 一 司
	芳 田 豊
	島 山 滉
常 勤 監 査 役	野 宮 孝 正
監 査 役	和 田 正 一
	入 江 一 充



## ■株式の状況 (2012年3月31日現在)

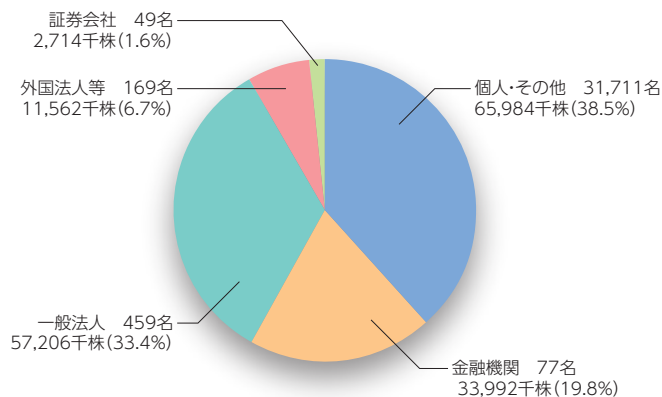
発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	171,459,479株
株主数	32,465名
単元株式の数	100株
新株予約権の状況	
①新株予約権の数	3,000個
②目的となる株式の種類および数	普通株式18,518,518株
③新株予約権の発行価額	無償

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
サンリ興産株式会社	36,809千株	21.58%
日本電気硝子株式会社	14,310	8.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,395	2.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,832	2.25
佐野 實	3,820	2.24
株式会社りそな銀行	2,760	1.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社りそな銀行退職給付信託口)	2,600	1.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,207	1.29
全国共済農業協同組合連合会	2,155	1.26
株式会社みずほコーポレート銀行	1,565	0.92

(注) 持株比率は、自己株式(913,612株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況(持株比率)





事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主確定のための基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当金 3月31日  
 中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告 <http://www.nipro.co.jp/>  
 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待制度 3月末現在、1,000株以上ご所有の株主様に対し一律、JCBギフトカード1万円分（1,000円×10枚）を6月下旬に送付する予定です。

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0057 大阪市北区曽根崎二丁目11番16号 みずほ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインバスターズ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほインバスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。



**NIPRO**  
NIPRO CORPORATION

本 社  
〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号  
TEL:06-6372-2331(代表)



この報告書は、再生可能な植物油インキを使用しています。